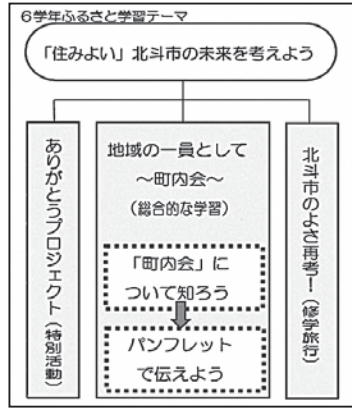


ふるさと学習の取り組み・自分言言言

～地域に生きる一人として(総合)～

萩野小学校

萩野小学校では、令和3年度よりふるさとや学校あるいは自分自身の強みを再認識し、伸ばし続けていく取組を進めています。今回は、6年生や児童会書記局の実践について紹介します。



【ふるさと学習イメージ図】
(3年度 第6学年の例)

1. 「北斗市のよさ再考」(修学旅行)

修学旅行のテーマとして選んだのは、「北斗市のよさはどこにあるのか」ということでした。自然環境や産業の面から道央の市町との違いを学ぶことにより、北斗市の「資源」について考えました。

2. 「地域に生きる一人として(総合)」

5年生では「コマ栽培体験」を通して、農業への工夫と喜びについて学びました。6年生では、わたしたちが生活している「町(町内会)」に着目しました。よりよく生活し続けていくために、小学生の今、



【町内会の歴史・発表資料例】

町内会長に年間の行事や町内会の課題と工夫について、お話を伺いました。コロナ禍での活動の工夫についても学びました。

町内会は、地域の美化と人々の交流、さらに、防犯・防災・交通安全等に取り組んでいる組織であることを学びました。

(3) 町内会長さんにインタビュー

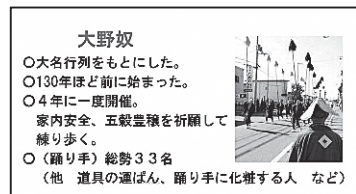
あるいは将来どのように地域と関わっていく必要があるのかを考えていきました。

(1) 各町内会の歴史を知ろう

(コミュニティスクール連携事業)

地域にある神社の由来や伝統芸能、用排水路の整備等について教えていただきました。

(2) 「もし町内会がなかったら？」



【町内会の歴史・発表資料例】

(4) 魅力あるまちを目指して

(北斗市役所市民課)

地域の課題と関わり方への関心を高めることをねらいに、「町内会への入会を促す」パンフレットを作成しました。



【パンフレット作品例】

今後「ふるさとを学ぶ」ことを通して、ふるさとに誇りを持ち、さまざまな資源や願いを未来へつなぐ子どもたちを育てたいと考えています。

児童会活動

1. 児童会の組織

本校の児童会活動は、五つの専門委員会と、会長・副会長・書記で構成される書記局によって組織されています。

その中で、書記局は、全校児童が協力して、より良い学校を作っていけるようにさまざまな活動をしており、今回はその内の二つを紹介します。

2. 書記局の活動

(1) UMC

書記局は、6月12日(日)に開催される運動会に向け、「運動会をもっと盛り上げたい!」ということで、『運動会を盛

り上げようキャンペーン』略して、

U (運動会を)

M (盛り上げよう)

C (キャンペーン)

という企画を立ち上げました。



【UMCの様子】

この企画は、子どもたちが、一枚の模造紙に、仲間への応援メッセージなどを自由に書き込むというものです。

企画開始初日。多くの子どもたちが、「最後まで諦めないで頑張ろう!」など、いろいろなメッセージを書き込んでくれました。

この時に、本校に来ていたベッパも、この企画の説明をし、大人気でした。

(2) 書記局ニュースおはよう萩野

萩野小学校の児童会書記局は、毎週火曜日の朝に、本校の子どもたちの様子をニュースとして放送しています。

この活動を通して、書記局の児童は、全校児童の様子に目を向けることができ、さらに、それを全校に発信することで、子どもたちはお互いのことを知るきっかけとなります。

二学期からも、この活動を続け、学校生活や自分たちの取組に自信をもてるように活動していきたいと考えています。

(萩野小学校 教諭 秋山 範光・東 賢吾)